



日本人と外国人が共生し、世界に選ばれる県を目指して ～富山県における外国人材活躍・多文化共生の取り組み～

富山県総合政策局国際課

新たなプランの策定

富山県では、2007年3月に初めて「多文化共生推進プラン」を策定（2012年3月改訂）するなどしながら、多文化共生の地域づくりに取り組んできました。

その中で、2019年4月に改正出入国管理及び難民認定法が施行されるとともに、国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づく具体的な取り組みも始まっています。こうした外国人住民を取り巻く状況に適切に対応する必要があります。

また、本県では、外国人住民が近年増加する一方、少子高齢化による生産年齢人口の減少や回復基調が続く経済情勢により、県内企業の人手不足が深刻化している状況にあります。外国人住民は今後、労働や消費等を通じて地域経済を支え活力をもたらす存在として一層期待されるほか、地域社会の担い手としての役割も期待されることから、外国人住民が生活者として定着できるよう、外国人が働き、暮らしやすい就労・生活環境を整備することが重要となります。

このため、従来のプランを大幅に見直し、これまでの「多文化共生の推進」の観点に加え、新たに「外国人材活躍」の観点を盛り込んだ「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン」を昨年9月に策定し、外国人住民



第4回富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン策定委員会

に対し、「地域社会の一員としての支援」に加え、「労働者としての支援」を一体的かつ効果的に行っていくこととしました。

「地域社会の一員」としての支援

「地域社会の一員としての支援」に関する新たな取り組みとして、まず第一に、外国人住民に一元的かつ多言語で情報提供や相談対応を行う相談窓口として、（公財）とやま国際センター内に「富山県外国人ワンストップ相談センター」を設置しました。同センターに、専門の相談コーディネーター1人と英語・中国語・ポルトガル語のできる相談員を3人常時配置（このほか韓国語、ロシア語、テルグ語、ベトナム語のできる相談員も時間帯によって配置）するとともに、タブレット三者間通訳アプリや多言語自動翻訳機を活用することにより、さまざまな言語による相談にきめ細やかに対応できるようにしました。



富山県外国人ワンストップ相談センター

昨年6月のセンター開設以降、多くの外国人住民等から多岐にわたる相談等が寄せられており、今後これまでの相談内容を精査し適切な対応につなげていくとともに、新たに、よくある質問とその対応についてまとめたQ & Aの公開等を行う予定です。

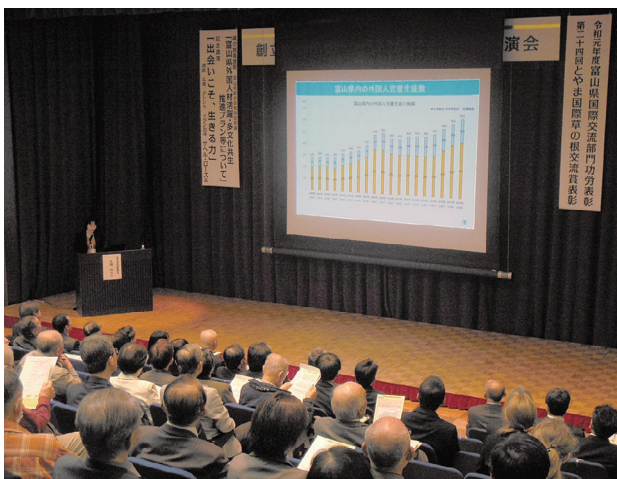
次に、外国人住民等の相談体制の充実のため、県内の関係機関の対応力向上や県との連携強化を図りました。今年度は、富山県弁護士会や富山県行政書士会とともに研修会を開催し、専門家としての役割や関係機関との連携の重要性等について理解を深めました。今後、市町村向け研修会の開催も予定している一方、新たに「外国人ワンストップ相談センター」と関係機関との連携会議を開催し、情報共有や事例検討等を行うことで、相談体制のさらなる充実を図ることとしています。



外国人相談に関する行政書士向け研修会

また、県税事務所や保健所（厚生センター）、児童相談所、警察など、外国人対応が多い県の窓口等に多言語自動翻訳機を72台購入し、配備しました。これにより、外国人に対してより円滑な対応を行う手助けができるようになると考えています。

さらに、日本人住民と外国人住民がともに、お互いの生活習慣や文化の違いを理解することも大切です。このため、広く県民を対象としたイベントを開催し、新たなプランの概要について説明するとともに、多文化共生をテーマとした講演を行い、意識啓発に努めたところ です。



多文化共生に関する県民向け普及啓発イベント

このほか、行政・生活情報の多言語化や日本語教育、医療・保健・福祉に関する支援、災害対策の充実、地域社会への参加促進等の取り組みについても充実していきたいと考えています。

「労働者」としての支援

一方、「労働者としての支援」ですが、外国人労働者を受け入れている県内企業では、日本人社員側が外国人労働者とのコミュニケーションに悩みを抱えているとの意見が多かったことを踏まえ、新たに日本人社員向けに外国人とのコミュニケーション方法等を身に付けるための研修会を開催することとしました。

また、ベトナムのトップクラスの理系大学生を県内企業に受け入れる新事業も行うこととしています。

このほか、高度な外国人材（留学生等）の積極的な活用や外国人技能実習制度の利用促進・技能実習生の育成、新たな在留資格（特定技能）の受入れに関する施策についても展開していくこととしています。

日本人と外国人が共生し、 世界に選ばれる 「元気とやま」を目指して

以上の取り組みをはじめ、新たなプランに掲げた各施策の推進にあたっては、市町村や関係機関、NPO、企業等との連携・協働が極めて重要であると考えており、今後、新たに設置する「富山県外国人材活躍・多文化共生推進連絡会議」において情報共有を図るとともに具体的な取り組みについて協議し、プランの総合的な推進に取り組んでいくこととしています。

富山県では、引き続き、市町村や関係機関等と連携しながら、日本人にも外国人にも働きやすく、暮らしやすい地域づくりを進めることで、ともに地域社会の重要な構成員として共生するとともに、世界に選ばれる「元気とやま」を目指していきます。

「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン」はこちらから！

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1018/kj00020882.html